



戸崎 克司議員

Q 彦根市LINE公式アカウントの登録者数は

A 2月29日現在では33,890人の方に登録いただいている



その他の質問

- ・広報・SNSを通じた保育士の採用活動について
- ・広報・SNSを通じた福祉のしごとの採用活動について

Q 彦根市LINE公式アカウントリニューアルの目的は。

A アプリ「ひこまち」とLINEの機能を統合することで、一元的に情報を得られ、利便性の向上を図った。新たな機能も追加でき、市民サービスのさらなる向上を図ることも目的としている。

Q 彦根市LINE公式アカウントの受信者アンケートによる効果は。

A 情報発信の際、受信者アンケートの回答に基づき、その情報を必要とする方にターゲットを絞って配信を行っている。

Q SNSやHPの活用について、広報戦略課と各担当課のつながりは。

A 全職員に向けて情報共有を図るため、毎年「SNSを活用した情報発信および魅力発信」「ホームページの運用」についての研修を実施し、担当課のニーズを把握し、最適な方法を一緒に検討するなど随時、意見交換等も行っている。



▲彦根市LINE公式アカウント



中野 正剛議員

Q 彦根城天守にこどもファスト・トラックを導入しては

A まずは先進事例を研究していく



その他の質問

- ・ふるさと納税を利用した代理寄付について
- ・彦根市の避難所への水道管の耐震化はできているのか

Q こどもファスト・トラックについての彦根市の見解は。

A こどもファスト・トラックとは、公共施設などの受付において、妊婦や子ども連れの方を優先する取組で、本市も「こどもまんなか応援サポーター」として活動していくことを宣言している。なお、この取組は子ども・子育て世帯を対象とすることを重点的なメッセージとして示しているが、高齢者や障害者の方などへの配慮は引き続き行うもの。

Q 彦根城天守の混み具合はどうか。

A 観光シーズンにおいては、30分から最長で2時間程度の天守入場待ちが発生している。

Q 彦根城天守入口にこどもファスト・トラックの導入は必要ではないか。

A 彦根城においても混雑する観光シーズンに、この取組を進めることが有効かどうか、まずは先進事例を研究していく。



▲彦根城天守入口



八橋 龍二議員

Q 国スポ・障スポに関して
これまでにかけた費用は

A 全体では約116億1,000万円



その他の質問

- ・国スポ・障スポに係る令和6年度予算について
- ・国と県と彦根市の負担割合について
- ・費用対効果について

Q 令和7年度に開催される国スポ・障スポに関してこれまでにかけた費用は。

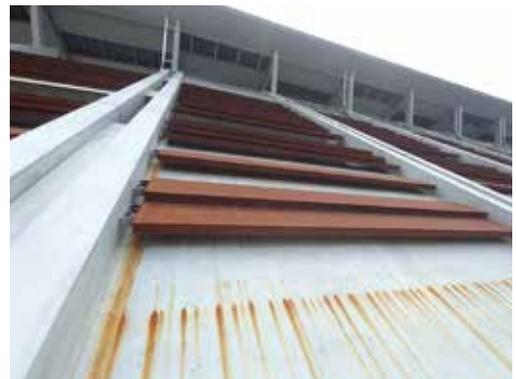
A 昨年度までの間に彦根市スポーツ・文化交流センターの建設に約85億9,000万円、同施設や主会場の周辺整備事業、金亀公園整備事業を含めると全体では約116億1,000万円である。

Q 平和堂H A T Oスタジアムの外壁は修繕しないのか。

A 施設管理者である滋賀県には現況を伝えてあり、今後、対策の要否を判断され必要に応じて対応される。

Q 開会式、閉会式の費用負担は。

A 開会式、閉会式については、滋賀県が全額負担されるので、彦根市が負担する予定はない。



▲外壁の修繕が待たれる
平和堂H A T Oスタジアム外壁



奥野 嘉己議員

Q 救急車の不適正利用(タクシー代替、
便利使用)を抑制するには

A 適正使用の広報を検討する



その他の質問

- ・能登半島地震を受けて、地域防災計画への提案、可搬式消防機器増設の検討
- ・市債発行への金利動向の検討

Q 救急車の出場回数増の中に、いわゆるタクシー代替使用、便利使用が含まれており、現場到着時間の遅れの原因の一つにもなっている。急病にかかる救急搬送の軽症者のうち、不適正利用と思われる件数は。

A 令和5年の急病搬送人員は4,241人で、軽症者は2,462人、そのうち救急隊が不適正利用と判断したケースは566件で軽症者の23%であった。

Q 現在、軽症者からは、法に基づき選定療養費を徴収していることを広報することによって便利使用の抑制は図れないか。このままでは病院での診療費支払い時のトラブル原因になりかねないのではないのか。

A 市立病院と消防本部で調整しながら広報に努める。



▲救急搬送の様子



小川 隆史議員

Q 本市の窓口業務時間の見直し状況は

A 現時点で前向きに検討を進めている



その他の質問

- ・地区公民館のコミュニティセンター化について

Q 午前8時半前および午後5時15分後の業務準備、後始末の時間はどう処理されているか。

A 所属長の事前命令による時間外勤務での対応を基本としている。

Q 窓口業務の通常処理に係る超過勤務額は。

A 書類確認等には複数の職員が必要。仮に対応に2名で毎日1時間を要したとすると、1所属、年間122万5千円の時間外勤務手当が生じる。



▲彦根市役所窓口業務

Q 本市ライフサービス課の窓口時間よりも短縮している他の都市はあるか。

A 大津市、川西市、安芸高田市は9時～17時、つくば市は8時45分～16時30分。滋賀県は試行的に実施中。

Q 窓口時間を短縮すれば、短縮時間で準備、後始末ができ、時間外勤務手当が削減できるか。

A 時間外勤務手当は押さえられると考えている。

Q 本市の窓口業務時間の見直し状況は。

A 現時点で前向きに検討を進めている。



矢吹 安子議員

Q 「おもてなし都市宣言」をすべきでは、その可能性や検討は

A 市民全体的の盛り上がりが必要で現時点では宣言する段階ではない



その他の質問

- ・良質な公共サービスの提供と労働者の生活を守るための「公契約条例」の制定は

Q 都市におけるおもてなしの根本は公衆トイレにあることから、彦根城周辺等の温水洗浄便座の設置状況は。

A 城周辺等の18施設の公衆トイレの洋式便器総数は84基、そのうち3分の2の56基が温水洗浄便座化している。

Q 老朽化した公衆トイレの改修予定の中、大手門の仮設トイレはどのように対応するのか。

A 世界遺産登録に向けて何らかの形で改修する等、文化庁や県と協議して、できるだけ前に進めるようにしていきたい。

Q 来年秋には国スポ・障スポの開催、来年春から秋には大阪・関西万博での経済効果が期待されている。彦根に今以上のお客様を受け入れるための「おもてなし都市宣言」をすべきでは。

A まずは、市民全体が観光客を受け入れるおもてなし意識の醸成が必要であり、行政からの「おもてなし宣言」が先ではないと考える。



▲大手門の仮設トイレ